

B U S I N E S S R E P O R T 2 0 1 1

2010.4.1 — 2011.3.31



メルコグループ

会社の方向性

STRATEGY

株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧 誠



グローバル元年として、海外拡大に拍車

次期の日本経済の見通しは、東日本大震災の影響により、不透明な経済環境が続くものと思われます。しかし、一方でスマートフォンやデジタル家電の普及はまだ始まったばかりであり、これに関連するデジタル家電の周辺機器市場も今後引き続き成長する可能性を秘めています。

メルコグループは、総合周辺機器メーカーとしてのこれまでの実績を活かし、人々の豊かなデジタルライフを実現する多彩な製品やソリューションを積極的に展開し、デジタル家電の周辺機器市場の成長促進を図ります。

また海外進出については、あらためてグローバル元年と位置付け、中国販社設立による中国での販売強化や中南米での販売開始など、メルコグループの最重要課題である海外事業の拡大を一層強化していきます。また、

それを実現するグローバルな人材育成の教育投資やもう一つの最重要課題である次世代を担う新規事業開発についても積極的な投資を行います。これらにより売上高1,340億円(前年同期比8.3%増)、営業利益67億円(同37.6%減)、経常利益67億円(同38.8%減)、当期純利益39億円(同37.9%減)を見込んでいます。

このようにメルコグループは時代を切り開き、変化を武器に挑戦を続けることで、今後も成長してまいります。

成長へのためめ挑戦がメルコグループの原動力

デジタル家電周辺機器事業を新たな成長事業に

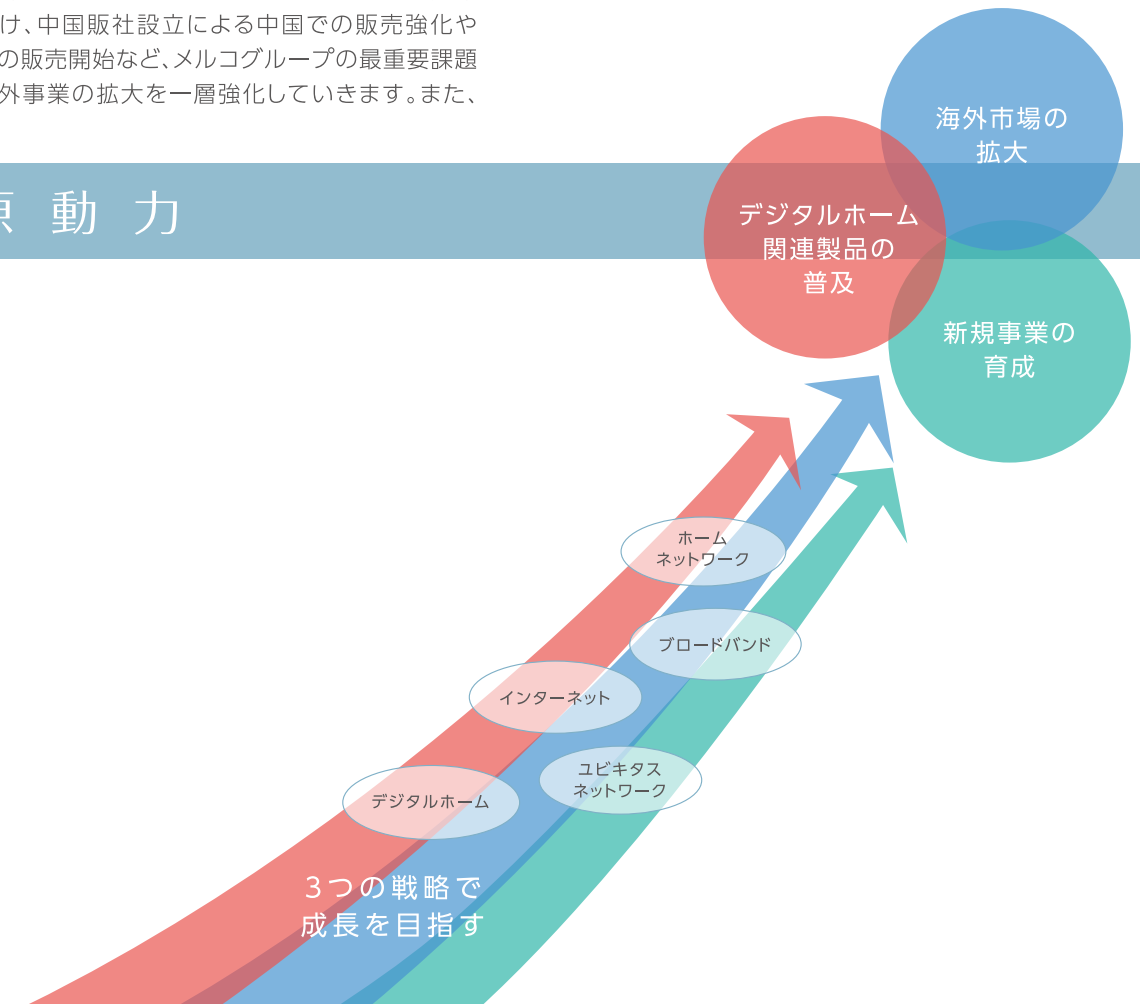
私たちメルコグループは、株式会社バッファローを中核としたデジタル家電とパソコン周辺機器の総合メーカーです。当期の日本経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、年度末からの景気の足踏みや期末3月の東日本大震災により、景気の先行きに深刻な影響が懸念される状況となりました。

メルコグループにとって関係の深いデジタル家電業界は、スマートフォンの増加や家電エコポイント制度が牽引した地上デジタルテレビの販売台数増加により、その周辺機器市場も拡大しました。一方、パソコン関連業界は、個人向け需要は回復傾向にあったものの、法人向け需要の回復には至らず、これに関連する周辺機器市場も厳しい状況が続きました。

このような市場環境の中で、メルコグループは海外事業の強化に注力するとともに、国内においては販売市場での

シェア確保に努力し、パソコン周辺機器市場における存在感を維持しました。また、デジタル家電市場においても「デジタルライフ、もっと快適に」を具体化するため、デジタル家電の周辺機器市場開拓にいち早く取り組み、ユーザーズを具現化する新製品の発売や家電売場における活用提案などを積極的に行い、新たな市場形成に努めました。これにより、デジタル家電周辺機器事業を新たな成長事業として位置付けることができました。

その結果、売上高は1,237億49百万円(前年同期比5.8%増)と前期を上回る結果となりました。また、営業利益においては、差別化製品の投入、経営の効率化、原価低減などの努力により、営業利益107億43百万円(同42.4%増)、経常利益109億54百万円(同43.2%増)、当期純利益62億77百万円(同25.8%増)といずれも過去最高となりました。



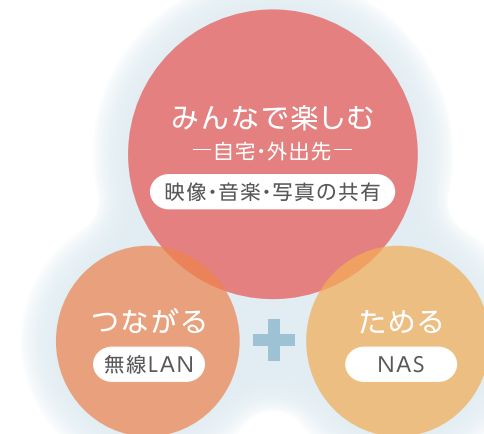
デジタルライフ、もっと快適に

デジタルホームさらに広がる

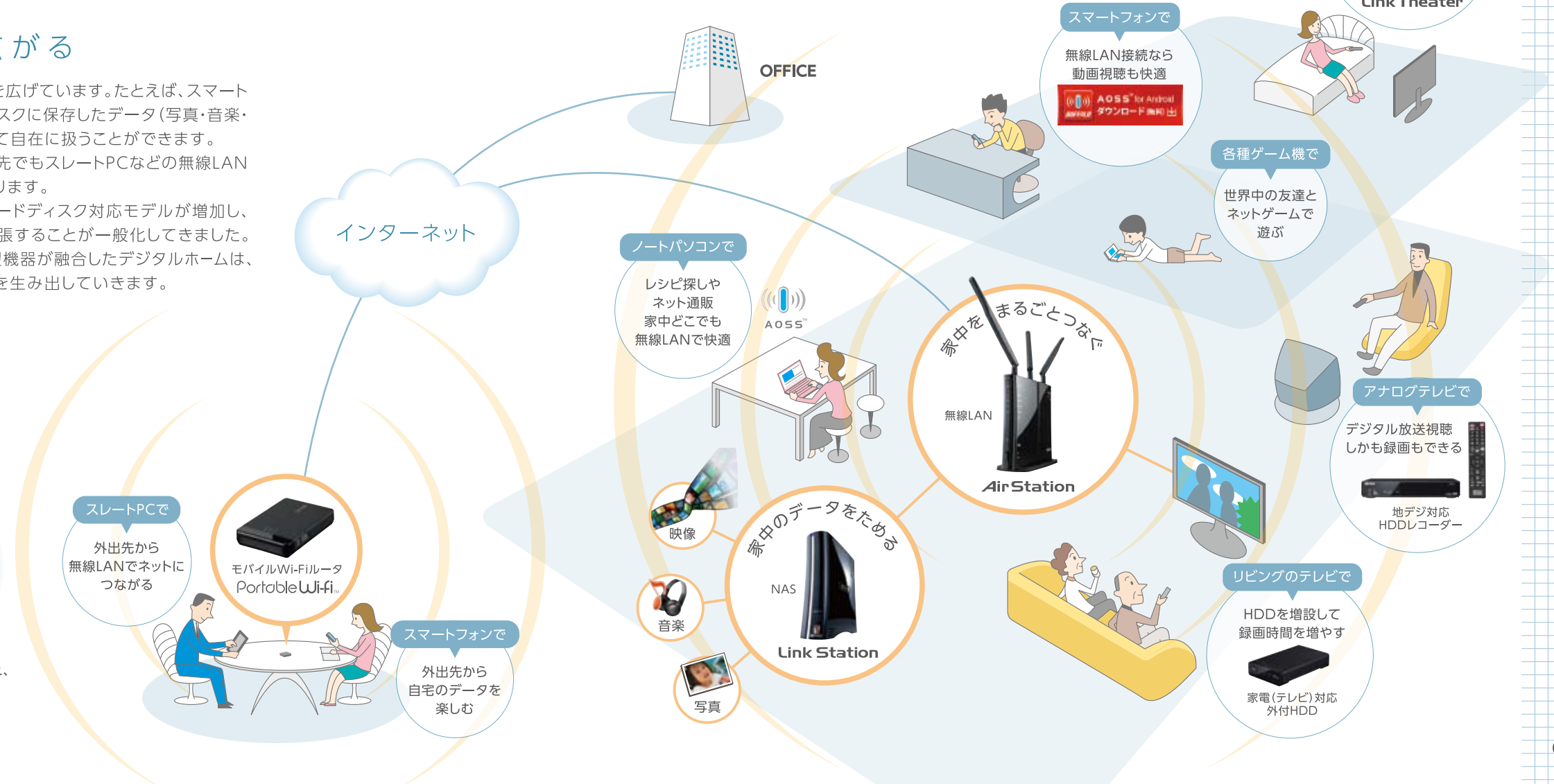
スマートフォンの普及はデジタルホームの活用を広げています。たとえば、スマートフォンから外出先で自宅のネットワークハードディスクに保存したデータ(写真・音楽・映像など)をプライベートクラウドストレージとして自在に扱うことができます。

また、モバイルWi-Fiルータの使用により、外出先でもスレートPCなどの無線LAN対応機器をインターネットに接続できるようになります。

地上デジタルテレビの録画においても、外付ハードディスク対応モデルが増加し、録画時間を外付ハードディスクの追加で手軽に拡張することが一般化してきました。このようにデジタル家電、ホームネットワーク、周辺機器が融合したデジタルホームは、今後さらに拡大し、もっと多彩で快適な生活環境を生み出していきます。



ホームネットワークにテレビやゲーム機、パソコンが接続され、インターネットや映像、写真、録画番組が自由に楽しめる！さらに外出先からもスマートフォンで楽しめる！



メモリ製品



メモリモジュール



USBメモリ



microSDカード

●メモリ製品

メモリモジュールは、パソコンの記憶容量を増加させる製品です。パソコンの記憶容量を増やすと、一度に扱えるプログラムやデータの量が大きくなり、Windowsの起動時間の短縮や画像コピーの高速化など、効率良く速く処理することができるようになります。

●フラッシュメモリ製品

フラッシュメモリ製品は、手軽にデータを持ち運べる製品です。デザイン性が高いものから、指紋・パスワード認証の高セキュリティモデルまで、幅広いラインアップが揃う「USBメモリ」。小型化・高集積化が進み、デジタルカメラ・携帯電話で利用する「コンパクトフラッシュ」「SDカード」「microSDカード」などがあります。

ネットワーク製品

ネットワーク製品の代表的なものには「無線LANルータ」「有線ブロードバンドルータ」「LAN用ハブ」「LANアダプタ」などがあります。ネットワーク製品を用いることで、複数のパソコンでデータを共有したり、インターネットを利用したりできるようになります。特に「無線LAN」はわずらわしい配線が必要ないため、ホームネットワークでの利用が増えています。また、モバイルWi-Fiルータの使用により、外出先でもスレートPCなどの無線LAN対応機器をインターネットに接続できるなど、ますます無線LANの普及がすすんでいます。



モバイルWi-Fiルータ



ビジネス用管理者機能搭載無線LAN



無線LANルータ

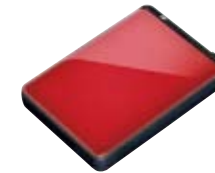


レイヤー3Gigaインテリジェントスイッチ

ストレージ製品



外付ハードディスク



ポータブルハードディスク



テレビ用外付ハードディスク



ネットワークハードディスク

ストレージ製品は、ソフトウェアやデータを保存する記憶装置です。「外付ハードディスク」「ポータブルハードディスク」「外付ブルーレイドライブ」「外付DVDドライブ」「NAS（ネットワークハードディスク）」などのほか、衝撃に強く小型で静音に優れた「SSD（シリコンディスク）」があります。

●外付ハードディスク

ストレージ製品の売上高の大部分を占める主力製品です。パソコンのデータやデジタルビデオカメラで撮影した写真/動画の保存などに使用します。最近では地上デジタルテレビで番組をハードディスクに録画する用途が増え、ハードディスクの増設需要が高まっています。

●NAS（ネットワークハードディスク）

ネットワークに接続して、大容量のデータを複数のパソコンやデジタル家電で共有できるハードディスクです。ご家庭で気軽に利用できるコンパクトなタイプから、高信頼・高機能のビジネスユースまで、幅広いモデルをラインアップしています。最近では、スマートフォンから外出先で自宅のNASに保存したデータをプライベートクラウドストレージとして扱うなど利用機会が広がりをを見せています。

デジタルホーム製品

パソコンやデジタル家電をネットワークで結ぶ「デジタルホーム」を利用するための製品です。

iPhone®/iPad®/iPod touch®で手軽にテレビが視聴できるワンセグチューナー「ちょいテレビ」、一昔前のアナログテレビを地デジ対応テレビにアップグレードする地上デジタルチューナーや1台で視聴・録画が可能なHDDレコーダーなど、デジタル家電周辺機器へとラインアップが拡大しています。



ワンセグチューナー

パソコン用
地デジチューナー

HDDレコーダー



※「iPhone」「iPad」「iPod touch」はApple Inc.の商標です。

事業概要

OUTLINE

サプライ・アクセサリ製品

「マウス」「キーボード」などの入力機器をはじめ、いま人気のスマートフォンやスレートPC、携帯音楽プレイヤー用のケースや保護フィルムなどの各種アクセサリをラインアップ。また、「Webカメラ」「ヘッドセット」などのマルチメディア機器から、「USBケーブル」などの各種ケーブルまで、パソコン・各種デジタル家電をより快適に楽しく使える製品群を幅広くお届けしています。



無線BlueLEDマウス



スマートフォンケース



USB3.0カードリーダー/ライター
世界最速モデル
※2011年1月時点当社調べ



FMトランスミッター

DOS/Vパーツ



玄人志向
ブランド



グラフィックボード



電源

「玄人志向」のブランド名で高性能スペックを追求したDOS/Vパーツ製品群を先進的なハイエンドユーザ向けに提供しています。ユーザが試行錯誤を繰り返し、パソコン組立てを通じて、充実感や満足感を体感いただける、「パソコンパーツの総合サプライヤー」を目指しています。

サービス

個人向けのパソコン訪問設定サービスをはじめ、法人向けの無線LAN事前電波調査(サイトサーベイ)や設置工事、保守サポート、コールセンター業務代行まで、各種のサービス業務をサポートしています。



インターネット設定サービス(バッファローサービスアライアンス)

GfK certified 2010 5部門でNo.1を受賞 (2010年度)



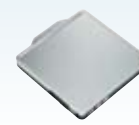
HDD部門



3年連続 3回目
バッファロー



DVDドライブ
部門



3年連続 3回目
バッファロー



PC用地デジ
チューナー部門



3年連続 3回目
バッファロー



ネットワーク
部門



3年連続 3回目
バッファロー



USBメモリ
部門



3年連続 3回目
バッファロー

BCN AWARD2011 14部門でNo.1を受賞 (2010年度)



メモリ部門



2年連続 10回目
バッファロー



USBメモリ
部門



8年連続 8回目
バッファロー



DVDドライブ
部門



3年連続 3回目
バッファロー



外付HDD
部門



3年連続 8回目
バッファロー



内蔵HDD
部門



12年連続 12回目
バッファロー



無線LAN部門



9年連続 9回目
バッファロー



ルータ部門



8年連続 9回目
バッファロー



HUB部門



10年連続 11回目
バッファロー



LANカード
部門



12年連続 12回目
バッファロー



プリントサーバ
部門



11年連続 11回目
バッファロー



ドライブケース
部門



3回目
CFD販売



拡張インター
フェース部門



2年連続 2回目
CFD販売



グラフィック
ボード部門



8年連続 8回目
CFD販売



IP通信
関連機器部門

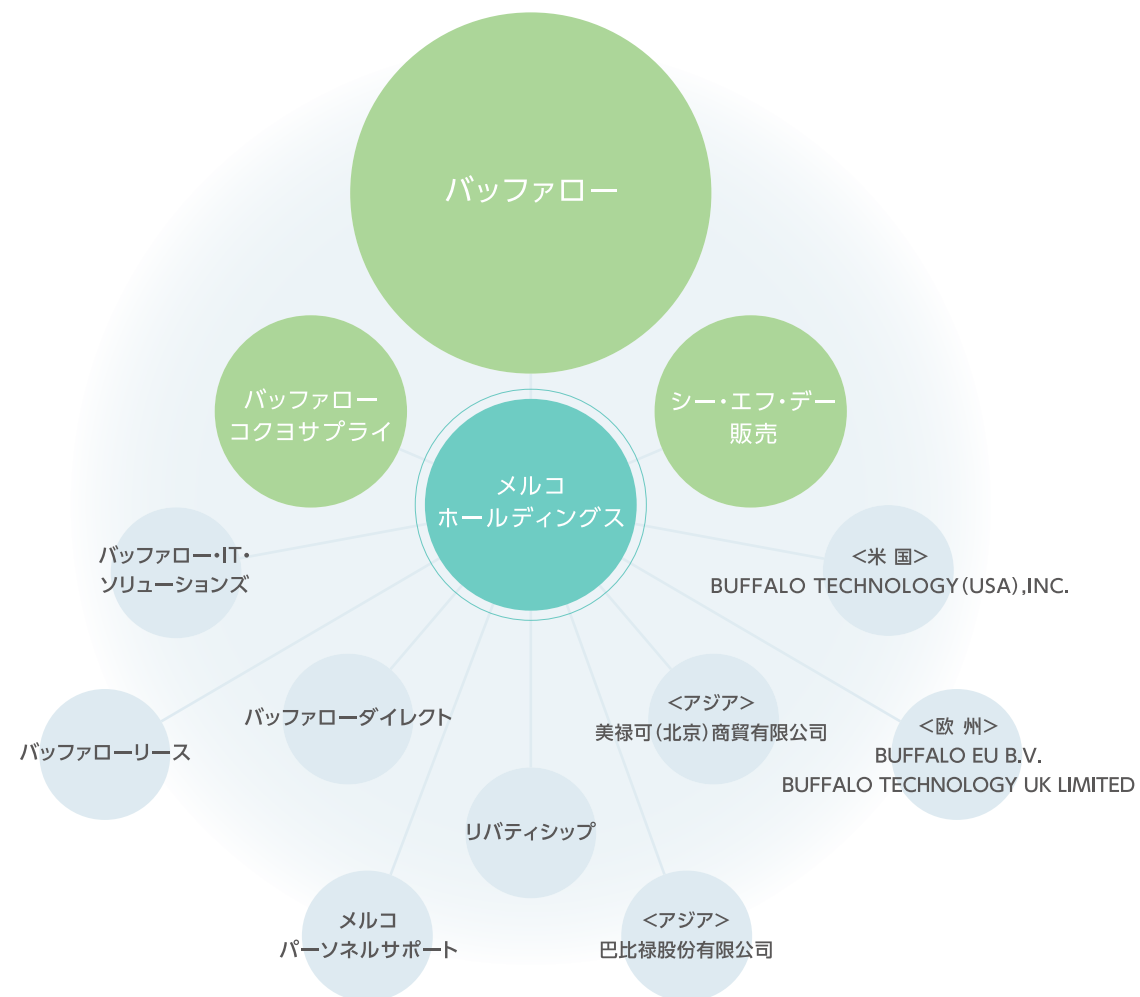


4年連続 4回目
バッファロー・ココヨサプライ

グループ紹介

GROUP COMPANIES

メルコグループは、株式会社メルコホールディングスと連結子会社14社により構成されています。
デジタル家電とパソコン周辺機器の総合メーカーとして、機器の開発から販売、設置・設定・保守サービス、アフターサポートまで、全国の法人・個人を対象に、IT・ネットワーク環境構築に必要な機器・サービスを提供しています。



メルコグループ

- 株式会社メルコホールディングス
純粋持株会社。各種事業を営む会社の株式を所有し、事業活動の支援、経営指導を通じ統括管理しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-251-6891(代) FAX:052-249-6609
- 株式会社バッファロー
メルコグループの中核となるブランドメーカー。デジタルホーム市場の成長を促進させる製品を積極的に展開しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-249-6610(代) FAX:052-249-6609
- 株式会社バッファローコクヨサプライ
デジタル家電・コンピュータ用の各種アクセサリ、サプライ品などを開発・販売しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-249-6608 FAX:050-5830-8808
- シー・エフ・デー販売株式会社
「パソコンパーツの総合サプライヤー」をめざしています。
「玄人志向」ブランドを展開。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:052-249-6606 FAX:050-5830-8824
- 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ
個人・法人を対象にパソコン設定・ネットワークインフラ構築・保守などのサービスを提供しています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL:03-6280-0777 FAX:03-6280-0779
- 株式会社バッファローリース
通信キャリアやビデオ配信サービス業者など、機器を配布するサービスのレンタル代行を行っています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL:03-3523-3354 FAX:03-3523-3300
- 株式会社バッファローダイレクト
インターネットを活用し、メルコグループ各社の商品を直販しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:050-5830-8886 FAX:050-5830-8887
- 株式会社メルコパーソネルサポート
事務職を一括採用して派遣する人材派遣会社です。
主にメルコグループ各社に派遣しています。
〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL:050-5830-8866 FAX:050-5830-8867

- 株式会社リバティシップ
ユーザ同士、ユーザと企業を結び、インターネットによるコミュニケーションサービスを提供しています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL:03-3523-3368 FAX:03-3523-3300

海外関連会社

<アジア>

- 巴比禄股份有限公司
ブロードバンド関連機器およびコンピュータ周辺機器の製造・販売
4F, No.18, Lane609, Sec.5, Chung Hsin Rd.,
Sanchung City, Taipei Hsien, TAIWAN
TEL:886-2-2999-9860 FAX:886-2-2999-2264

- 美禄可(北京)商貿有限公司
ブロードバンド関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売
1155.11th Beijing New Century Hotel, No.6 Southern Road,
Capital Gym, Haidian District, Beijing 100044, China
TEL 86-10-6849-2981 FAX 86-10-6849-2980

<米 国>

- BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.
ブロードバンド関連機器およびコンピュータ周辺機器の製造・販売
11100 Metric Boulevard suite 750 Austin Texas 78758
TEL:1-512-349-1500 FAX:1-512-339-7272

<欧 州>

- BUFFALO EU B.V.
欧州統括会社
Polarisavenue 85, 2132 JH Hoofddorp, The Netherlands
TEL:31-23-554-6010 FAX:31-23-554-6019

- BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED
ブロードバンド関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売
2, Bracknell Beeches, Old Bracknell Lane, Bracknell,
Berkshire RG12 7BW, United Kingdom
TEL:44-1344-381700(代) FAX:44-1344-381710

ホームネットワークの普及を加速させる「AOSS」

バッファローでは無線LANの普及拡大を目指すため、2001年に無線LANの接続やセキュリティ設定を、ボタンを押すだけのワンタッチで行えるシステム「AOSS (AirStation One-Touch Secure System)」を独自に開発しました。AOSSはその設定の簡単さにより、ソニーや任天堂のゲーム機をはじめ、地上デジタルテレビや、ブルーレイディスクレコーダー等のデジタル家電にも採用されています。また、Android搭載のスマートフォン向けアプリ「AOSS for Android」を開発、「Android マーケット」で無償配布を行っており、AOSSはさらに広がっています。

また、「AOSS」で培った技術をベースに、バッファローが提案活動に取り組んできた「プッシュボタン」方式が、Wi-Fiアライアンス^(※)が策定した無線LAN簡単設定規格「WPS」に採用されています。このことは、バッファローがワイヤレスホームネットワークの発展を牽引するリーディングカンパニーとして世界に認められた証といえます。

※無線LAN 関連製品を製造・販売する企業が集まる業界団体



外出先でも無線LAN機器をインターネットにつなげるモバイルWi-Fiルーター

スレートPCやゲーム機、音楽プレイヤー、デジタルカメラなどの無線LAN対応機器を、どこでも手軽にインターネット接続できるよう、NTTドコモFOMA[®]ハイスピード回線に対応した、モバイルWi-Fiルーターを開発しました。持ち運び便利なコンパクトサイズ、最大6時間の連続使用、FOMA[®]回線と公衆無線LAN回線の自動切替え、専用クレードルでの充電時に無線LANルーターとして使用できるなど豊富な機能を搭載しました。今後も無線LAN対応機器の需要を喚起する開発を継続していきます。



モバイルWi-Fiルーター

スマートフォンをさらに便利にするパーソナルクラウドストレージ

パソコンで外出先から自宅のネットワークハードディスク (NAS) に保存したデータを自在に扱え、パーソナルクラウドストレージとして使用できる「WebAccess」を2007年に開発しました。また、スマートフォンやスレートPCからも自宅のネットワークハードディスクが簡単に利用できるよう、アプリ「WebAccess i」、 「WebAccess A」を開発し、無料配布を行っています。今後も活用シーンを広げていく開発に積極的に取り組んでいきます。



エコ製品への取り組み

地球温暖化防止以降、エコ製品の積極的な開発がメーカーに期待されています。バッファローでは、テレビやパソコンで使用している際の待機時に電力を大幅にカットできるハードディスク、インターネットを使わない時間帯に自動で省エネ動作する無線LAN製品、ケーブルの長さを自動で判断し電力調整するLAN用ハブ製品など、節電機能を搭載した製品開発に意欲的に取り組んでいます。



1台で地デジの視聴・録画が可能なパーソナル地デジレコーダー

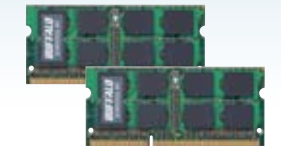
アナログテレビの地デジ化に加えて、番組録画が可能なレコーダー機能を搭載した地デジチューナーを開発しました。テレビの地デジ化だけでなくビデオの地デジ化問題もこれ一台で解決します。本体のハードディスクがいっぱいになっても、外付けのハードディスクを増設でき、手軽に録画時間を増やすことが可能です。また、HDMIポート搭載により録画した番組をフルハイビジョンで視聴でき、地上デジタルテレビへの買換え後もご使用いただけます。デジタル家電周辺機器市場においても、将来の活用シーンを見据えた製品開発をおこなっています。



地デジ対応HDDレコーダー

メモリの進化を支えるバッファローの技術力

バッファローは電子部品の標準化を推進する組織「JEDEC」に1996年から加盟し、同組織を通じて世界的なメモリモジュール規格の策定に貢献してきました。現在、全世界で使用されているほとんどのノートパソコンに搭載されている世界標準規格に準拠したメモリモジュールには、バッファローの設計が採用されています。今後も次世代の高速メモリモジュール開発に積極的に取り組んでいきます。



JEDEC規格準拠メモリ

法人ユーザのニーズに応える製品群

個人情報保護法、会社法、金融商品取引法などにより、保存データのセキュリティ強化は、企業においてますます重要な課題となっています。バッファローでは、情報漏えい防止のために利用するセキュリティUSBメモリの集中管理ソフトウェア〈Secure Lock Manager〉や、社内ネットワーク機器の管理、設定の負荷軽減を目的とした、ネットワーク機器の集中管理・設定ソフトウェア「BN-ADT」など、法人ユーザのニーズに応えるさまざまな製品を販売しています。



セキュリティUSBメモリ



ネットワーク集中管理ソフト

トピックス(製品)

TOPICS

iPhone®/iPad®でワンセグ視聴が楽しめる「ちよいテレビ」

iPhone®/iPad®/iPod touch®で手軽にワンセグテレビが視聴できるワンセグチューナー「ちよいテレビ」を開発。どこでもテレビが見れ、視聴中の番組をワンタッチ録画することも可能です。さらにバッテリー内蔵のため、本体バッテリー残量を気にすることなく長時間視聴が可能です。

※「iPhone」「iPad」「iPod touch」はApple Inc.の商標です。



ちよいテレビ

100%気泡が入らない液晶保護フィルム

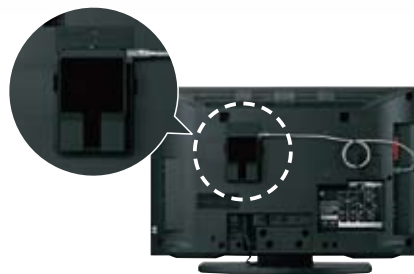
スマートフォンやスレートPCの液晶をキズやホコリ、指紋汚れ等から保護し、特殊技術エアースीलを採用した100%気泡が入らない液晶保護フィルム(特許出願中)を開発。誰が貼っても気泡が入らず、きれいに貼れます。また、フィルム表面に指すべり加工を施しており、タッチパネルに最適です。



液晶保護フィルム

テレビの背面に設置できるポータブルHDD

テレビの周りに物を置きたくないというニーズに応え、テレビの背面に取り付けができ、コンセントの不要なテレビ録画用ポータブルHDDをラインアップ。テレビを傷つけない「傷防止ゴム」など、大切なテレビにも安心して使用可能です。



ポータブルHDD



ポータブルHDD用
テレビ背面取付キット

総務省が無償給付する「簡易な地デジチューナー」の納入メーカーに2年連続選定

2011年7月に実施される地上デジタル放送への移行に向けて、総務省が補助対象事業で無償給付する「簡易な地デジチューナー」の納入メーカーに、バッファローが2009年/2010年と2年連続選定されました。



総務省無償給付対象
地デジチューナー

デジタル家電を無線LANで快適に

テレビ・家電をインターネットにつなぐと、楽しさが更に広がります。バッファローでは、パナソニック/シャープ製テレビ専用無線子機やLAN端子があるテレビ・レコーダーなどをまとめて無線化できるモデルなどデジタル家電の無線LAN対応に力を入れています。



デジタル家電用
無線LANルータ

グッドデザイン賞を多数の製品で受賞

パソコン周辺機器からデジタル家電周辺機器への拡がりとともに、テレビの横に置かれたり、持ち歩いて使ったりと、製品のデザイン性についてもより多様なニーズが求められます。使いたくなるデザイン、使いやすいデザイン、より洗練された製品へ。そのひとつの証としてグッドデザイン賞への挑戦を続けています。



HD-LBU2



HD-PXTU2



DWR-PG

中国に販売会社を設立

今後大きく成長が見込まれる中国市場での販売強化のため、2010年11月、北京に美禄可(北京)商貿有限公司を設立しました。



中南米での販売開始に着手

メルコグループでは海外進出をさらに加速させるため、当社の米国BUFFALO TECHNOLOGY(USA),INC.にて、2010年後半より中南米での販売開始の準備を進め、2011年よりメキシコ、中米など一部の地域での販売を開始しました。今後も中南米地域での販路拡大に取り組みます。

社会貢献活動

●一般社団法人デジタルライフ推進協会(DLPA)



2010年2月、(株)アイ・オー・データ機器、(株)デジオン、(株)メルコホールディングスのPC周辺機器関連3社にて、デジタルライフの健全な発展を目指し「一般社団法人デジタルライフ推進協会」(DLPA)を設立。

デジタルライフをより手軽に楽しめる環境づくりや規則づくりに関し活動を重ね、2011年2月に著作権保護のデジタル放送番組視聴における利便性向上を目指し、現状の視聴録画に関する課題を関係団体へ提言しました。また、ホームページに意見箱を設置し、一般利用者からのニーズを収集し、デジタルライフの環境整備に取り組んでいます。

▶ <http://dlpa.jp/>

●公益財団法人メルコ学術振興財団

メルコグループは創業30周年を記念する社会貢献事業として「財団法人メルコ学術振興財団」を2007年に設立し、2011年4月1日に公益財団法人に移行いたしました。

この財団は、日本の管理会計実務に関する研究への助成などを通じて、管理会計学の発展と普及、さらにはわが国の学術・文化の発展に寄与することを目的としています。

2010年度は「管理会計変化における変化媒介者の役割に関する研究」など、17名の研究者に助成を実施しました。管理会計の重要性がさらに高まりつつある中、この成果は広く社会に還元されていくものと期待しています。



●能代宇宙イベントにフリースポット環境を提供

能代宇宙イベントとは、宇宙教育の普及と宇宙開発を支える人的資源の育成を目的とした日本最大規模の学生/社会人によるロケット打上及び自律ロボット制御のアマチュア大会です。

2010年に開かれた第6回大会に、11n無線LANによるフリースポット環境を提供し、インターネットによるロケット発射のライブ中継にも成功しました。

●東日本大震災ネットワーク復旧支援

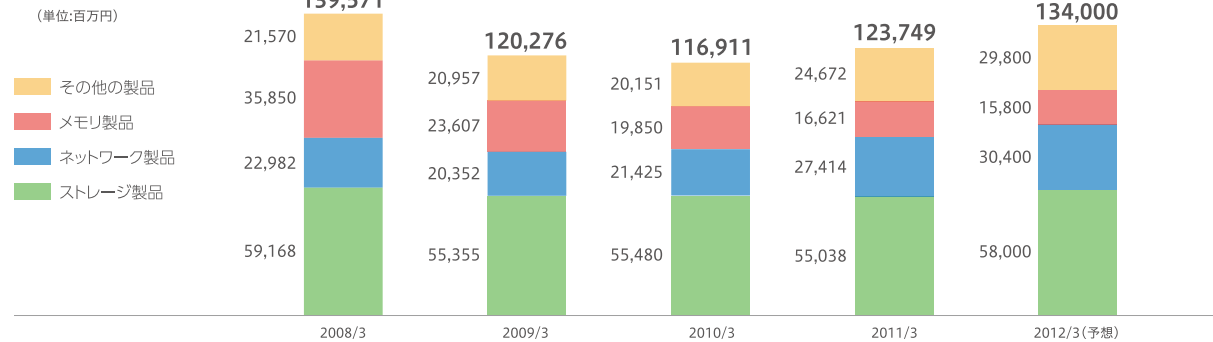
震災により被災し復興業務に支障が出ている自治体への無線LANネットワーク復旧支援(製品提供/設計/施工工事等)の無償実施及び避難所でのインターネット接続支援を目的とした無線LANアクセスポイント1,000台の無償提供など、無線LANによるインフラ支援を実施しました。

メルコグループは、今後も積極的に被災地支援に取り組んで参ります。

財務情報

FINANCIAL REPORT

■連結売上高



ストレージ製品

ストレージ製品では、外付ハードディスクに録画のできる地上デジタルテレビのラインアップ増加と販売台数伸張により、外付ハードディスクの市場が拡大しました。また、テレビ周りの配線をすっきりさせたいというニーズに応え、テレビの背面に取り付けが出来る、コンセントの不要な録画用ポータブルハードディスクを発売しました。これらにより、販売台数は前年同期比で12.0%増加しましたが、デフレによる単価下落により、売上高は前年同期比で0.8%微減の423億13百万円となりました。

NAS(ネットワークハードディスク)製品では、iPad®やAndroid搭載スマートフォンなどの端末から自宅のNASに保存したデータを外出先から自在に扱え、プライベートクラウドストレージとして使用できる新しい活用提案を行いました。これらにより、販売台数は前年同期比で17.1%増加しましたが、法人需要の低迷により、売上高は前年同期比で0.8%微減の127億25百万円となりました。

メモリ製品

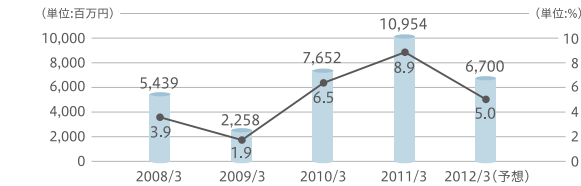
メモリ製品では、パソコンのメモリ初期搭載容量の大容量化によるメモリモジュールの追加購入需要の低迷により、メモリモジュールの販売台数は前年同期比で27.6%減少し、売上高は88億35百万円と前年同期比13.0%下回る結果となりました。

USBメモリに代表されるフラッシュメモリ製品では、販売シェアは維持したものの、需要の一巡による市場規模の縮小により、販売台数が前年同期比で13.9%減少し、売上高は77億86百万円と前年同期比19.7%下回る結果となりました。

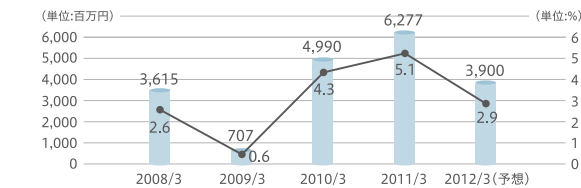
ネットワーク製品

ネットワーク製品では、地上デジタルテレビやiPad®などのデジタル家電機器での無線LANの需要が増大しました。また、NTTドコモFOMA®ハイスピード回線に対応し、どこでも手軽に楽しめるポータブルWi-Fiルーターという無線LANの新たな需要を喚起する新製品を投入しました。これらにより、販売台数は前年同期比17.1%増加し、売上高は前年同期比28.0%増加の274億14百万円となりました。利益面では高速規格IEEE802.11nのハイパワー差別化製品の販売増加と原価低減努力が貢献しました。

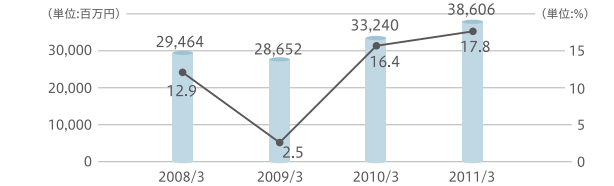
■連結経常利益と連結売上高経常利益率



■連結当期純利益と連結売上高当期純利益率



■連結株主資本と連結株主資本当期純利益率



【見通しに関するご注意】

上記の業績予測は現時点で得られる情報に基づいて算定されたものであり、多分に不確実な要素を含んでいます。従って、実際の業績は業況の変化により業績予測と異なる場合があります。

デジタルホーム製品

デジタルホーム製品では、2011年7月の地デジ化移行を控え、アナログTV用地上デジタルチューナーや1台で視聴・録画が可能なパーソナル地デジレコーダーの販売台数が増加しました。これらにより、販売台数は前年同期比163.7%増加し、売上高は前年同期比73.2%増の65億42百万円となりました。

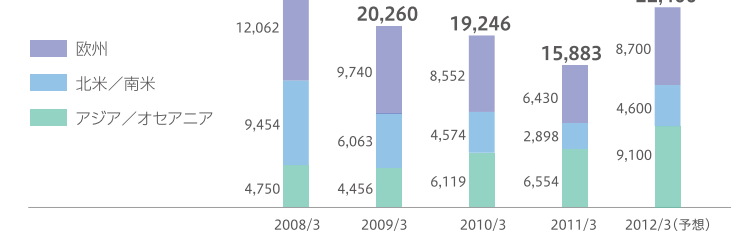
その他の製品

サプライ・アクセサリ製品では、女性ユーザ向けのデザイン性向上や特殊技術を採用した100%気泡が入らない液晶保護フィルム(特許出願中)などスマートフォン関連製品のラインアップを強化しました。これらにより、販売台数は前年同期比23.0%増加し、売上高は前年同期比7.6%増の101億61百万円となりました。また、デジタルライフ市場の拡大を目指し、エントリーユーザ向けの新ブランド「iBuffalo(アイバッファロー)」の導入を行いました。

海外の売上

海外販売については、欧州の信用不安に端を発した景気の冷え込みによる価格競争の激化や、不採算であった北米メモリ事業の撤退に加え、円高が重なり、海外売上全体としては前年同期比で17.5%減少しました。また、当期には今後大きく成長が見込まれる中国市場での販売を強化するために、中国販売子会社を設立し、また中南米においても販売開始の準備を行うなど、当社グループの最重要課題である海外事業体制の強化・拡充に鋭意努力しました。

■海外売上推移



※iPadはApple Inc.の商標です。

財務情報

FINANCIAL REPORT

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	65,616	57,617
固定資産	5,984	5,352
有形固定資産	956	867
無形固定資産	2,223	2,373
投資その他の資産	2,805	2,112
資産合計	71,601	62,970
負債の部		
流動負債	29,586	26,646
固定負債	3,407	3,082
負債合計	32,994	29,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	36,435	31,045
自己株式	△59	△58
株主資本合計	38,150	32,762
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	95	127
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	△314	△276
その他の包括利益累計額合計	△213	△145
新株予約権	－	4
少数株主持分	670	619
純資産合計	38,606	33,240
負債・純資産合計	71,601	62,970

■連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	前 期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高	123,749	116,911
売上原価	96,518	93,466
販売費及び一般管理費	16,487	15,902
営業利益	10,743	7,542
営業外収益	262	201
営業外費用	51	91
経常利益	10,954	7,652
特別利益	240	130
特別損失	476	452
税金等調整前当期純利益	10,718	7,329
法人税、住民税及び事業税	4,049	1,386
法人税等調整額	340	737
少数株主利益及び少数株主損失(△)	50	214
当期純利益	6,277	4,990

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当 期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	前 期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,719	12,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,340	△12,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889	△801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	8
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△562	△922
現金及び現金同等物の期首残高	11,977	12,900
現金及び現金同等物の期末残高	11,415	11,977

■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日												(単位:百万円)
区 分	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
前期末残高	1,000	774	31,045	△58	32,762	127	2	△276	△145	4	619	33,240
当期変動額												
剰余金の配当			△888		△888							△888
当期純利益			6,277		6,277							6,277
自己株式の取得				△1	△1							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△32	2	△37	△67	△4	50	△21
当期変動額合計	－	－	5,389	△1	5,387	△32	2	△37	△67	△4	50	5,366
当期末残高	1,000	774	36,435	△59	38,150	95	5	△314	△213	－	670	38,606

前連結会計年度											自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日			(単位:百万円)	
区 分	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計						
前期末残高	1,000	774	26,810	△57	28,527	5	0	△290	△285	4	405	28,652			
当期変動額															
剰余金の配当			△755		△755							△755			
当期純利益			4,990		4,990							4,990			
自己株式の取得				△0	△0							△0			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						122	2	14	139	－	214	353			
当期変動額合計	－	－	4,235	△0	4,234	122	2	14	139	－	214	4,588			
当期末残高	1,000	774	31,045	△58	32,762	127	2	△276	△145	4	619	33,240			

会社情報

COMPANY DATA

■社名の由来

「メルコ」は「牧技術研究所」を意味しています

「MELCO」のMは創業者でメルコホールディングスの代表取締役社長である牧誠の姓、Eは技術力の「Engineering」、Lは研究所の「Laboratory」、COは会社の「Company」の頭文字をとり、創業の1975年以来、社名として使用しています。

「バッファロー」はパソコン周辺機器の「プリンタバッファ」に由来しています

メルコが1982年に発売した内蔵型プリンタバッファは、印刷中でもパソコンが使える周辺機器として大ヒット製品となり、当社躍進の基盤となりました。その後、当社製品のブランド名を一般公募し、採用されたのが「BUFFALO」です。プリンタバッファを動物の“バッファロー”に重ね合わせ、たくましく成長する当社のイメージを表現するブランド名として採用されました。

■メルコグループのあゆみ

1975年 5月	音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを創業	2003年 5月	(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、名古屋市中区に本店を移転
1978年 8月	メルコを株式会社とし、(株)メルコ(現(株)バッファロー)を設立	10月	(株)メルコが(株)バッファローに商号変更、名古屋市南区に本店を移転
1981年 7月	パソコン周辺機器市場へ本格参入	10月	(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式を交換、持株会社体制に移行
1982年 11月	プリンタ内蔵型のプリンタバッファを発売	10月	(株)メルコホールディングスが東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場
1986年 7月	名古屋市天白区に(有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立	2004年 1月	デジタルホームソリューションズ事業部を新設
1988年 10月	わが国初のEMSボード(メモリ)を発売	2005年 3月	NTT東西の「オンデマンドTV」に専用セットトップボックスの供給を開始
1991年 10月	(株)メルコ(現(株)バッファロー)が日本証券業協会へ店頭登録	7月	(株)バッファローが名古屋市南区に「テクニカルサービスセンター」を開設
1992年 1月	名古屋市南区に技術開発拠点「ハイテクセンター」(現(株)バッファロー本社)を開設	2007年 4月	(株)メルコホールディングスが(株)アーベルを子会社化
8月	LANを発売	5月	(株)エム・ティー・エスが(株)バッファロー・IT・ソリューションズに商号変更
1994年 2月	ハードディスクを発売 パソコン周辺機器の総合メーカへ	8月	(株)アーベルが(株)バッファローコクヨサプライに商号変更
1995年 1月	(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場	2008年 4月	バッファローEU B.V. を設立
8月	(株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場	2009年 3月	(株)メルコホールディングス本社事務所を名古屋市南区に移転
9月	(株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得		
1996年 9月	(株)メルコが東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	2010年 9月	(株)メルコホールディングス本社を名古屋市中区大須へ移転
1999年 1月	無線LAN市場に参入、「AIRCONNECT」を発売	2010年 11月	美祿可(北京)商貿有限公司を設立
2000年 10月	DDR対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発		
2001年 1月	(株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得		

■株式会社メルコホールディングス

商 号	株式会社メルコホールディングス (英文社名)MELCO HOLDINGS INC.	役 員	(2011年6月28日現在) 代表取締役社長 牧 誠 専務取締役 斉木 邦明 取 締 役 山口 英利 取 締 役 松尾 民男 取 締 役 李 洋憲 取 締 役 津坂 巖 取 締 役 牧 寛之 常勤監査役 牧 博道 監 査 役 西川 俊男 監 査 役 川島 譲 監 査 役 隅 朝恒
設 立	1986年(昭和61年)7月1日		
資 本 金	10億円		
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う		
従業員数	83名、メルコグループ連結873名		
グループ企業	会社数14社(国内9社、海外5社)		

■株式会社バッファロー

商 号	株式会社バッファロー (英文社名)BUFFALO INC.	役 員	(2011年6月28日現在) 取締役会長 牧 誠 代表取締役社長 斉木 邦明 専務取締役 山口 英利 取 締 役 松尾 民男 取 締 役 続木 政直 取 締 役 中井 一 取 締 役 石徹白 敬 取 締 役 栗澤 極 監 査 役 牧 博道 監 査 役 金子 信正 監 査 役 豊岡 誠史
創 業	1975年(昭和50年)5月1日		
設 立	1978年(昭和53年)8月5日		
資 本 金	3億2千万円		
事業内容	デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売		
従業員数	415名		

事 業 所	本 社	〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル	TEL.052-249-6610 FAX.052-249-6609
	東 京 支 店	〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー	TEL.03-3523-3333 FAX.03-3523-3300
	大 阪 支 店	〒542-0012 大阪市中央区谷町9-1-18 アクセス谷町ビル	TEL.06-6191-1511 FAX.06-6191-1510
	名古屋営業所	〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル	TEL.052-249-6600 FAX.052-249-6601
	仙台営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-22 宮城野センタービル	TEL.022-291-0311 FAX.022-298-9470
	福岡営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-9-2 YAOJIセンタービル	TEL.092-477-3711 FAX.092-477-3755
	札幌営業所	〒060-0031 札幌市中央区北一条東1-4-1 サン経成ビル	TEL.011-200-8150 FAX.011-200-8151

■メルコホールディングス株式情報(2011年3月31日現在)

決 算 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証 券 コ ー ド	6676
発行済株式数	22,237,873株(自己株式控除後 22,214,492株)
株 主 数	8,898名(2011年3月31日現在)
1単元の株式数	100株
公 告 の 方 法	電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 ◎株式に関するお手続きについてご不明な点、確認したい点などがある場合は、 三菱UFJ 信託銀行証券代行部までお問合せください。 TEL.0120-232-711(土・日・祝祭日を除く9:00から17:00 通話料無料) ◎株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っています。 TEL.0120-244-479(通話料無料) http://www.tr.mufg.jp/daikou/
幹 事 証 券 会 社	(主)大和証券SMBC (副)野村證券、みずほインベスターズ証券、SMBC日興証券

株式会社 **メルコホールディングス** (証券コード6676) <http://melco-hd.jp/>

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社 **バッファロー** <http://buffalo.jp/>

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609
東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300